第11回全日本少年春季軟式野球大会沖縄県予選

競技部資料

1　競技に関すること

2　用具・装具規定及び運用規定

3　マナーチェック実施要項

第11回　全日本少年春季軟式野球大会沖縄県予選
＜競技に関すること＞

1　球場、練習会場について

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">球場</th><th colspan="3">練習会場</th></tr>
<tr><td rowspan="7">①</td><td rowspan="7">ONNA
赤間
ボールパーク

≪球場長≫
上原徹哉 10/12
（真志喜）
山内久司 10/13
（読谷）</td><td>開　　場</td><td>８：００</td><td rowspan="5">サブ
グラウンド</td><td>開　　場</td><td>９：００</td></tr>
<tr><td>ブルペン</td><td>あり</td><td>スパイク</td><td>使用可能</td></tr>
<tr><td rowspan="3">備　　考</td><td rowspan="3">第１試合
開始時刻
９：１５</td><td>打撃練習</td><td>特に制限なし
※安全面に配慮お願いします</td></tr>
<tr><td>ブルペン</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td>使用後の整備お願いします。</td></tr>
<tr><td>駐車場
注意事項</td><td colspan="4">・球場周辺のアンツーカーをスパイクで移動しないこと。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">②</td><td rowspan="7">北谷公園
野球場

≪球場長≫
仲松一星
（寄宮）</td><td>開　　場</td><td>７：４５</td><td rowspan="5">サブ
グラウンド
※球場隣接</td><td>開　　場</td><td>８：００</td></tr>
<tr><td>ブルペン</td><td>あり</td><td>スパイク</td><td>可能</td></tr>
<tr><td rowspan="3">備　　考</td><td rowspan="3">第１試合
開始時刻
９：００</td><td>打撃練習</td><td>特に制限なし
※安全面に配慮お願いします</td></tr>
<tr><td>ブルペン</td><td>投球練習場あり</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td></td></tr>
<tr><td>駐車場
注意事項</td><td colspan="4">・身障者駐車場や公園内の路肩は駐車禁止です。
※チーム関係者および保護者会へ周知徹底願います。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">③</td><td rowspan="7">コザ
しんきん
スタジアム

≪球場長≫
上間寿樹
（大宮）</td><td>開　　場</td><td>７：４５</td><td rowspan="5">しんきん
ドーム
※球場隣接</td><td>開　　場</td><td>７：４５</td></tr>
<tr><td>ブルペン</td><td>あり</td><td>スパイク</td><td>不可</td></tr>
<tr><td rowspan="3">備　　考</td><td rowspan="3">第１試合
開始時刻
９：００</td><td>打撃練習</td><td>ペッパーまで
ネットバッティング可</td></tr>
<tr><td>ブルペン</td><td>スタジアム内（ベンチ裏使用可）</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td>ブルペンは試合中チーム優先</td></tr>
<tr><td>駐車場
注意事項</td><td colspan="4">・身障者駐車場や球場周辺路肩は駐車禁止です。
※チーム関係者および保護者会へ周知徹底願います。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">④</td><td rowspan="7">嘉手納
運動公園
野球場

≪球場長≫
村島雄太
（兼城）</td><td>開　　場</td><td>８：００</td><td rowspan="5">ドーム横
広場</td><td>開　　場</td><td>９：００</td></tr>
<tr><td>ブルペン</td><td>あり</td><td>スパイク</td><td>不可</td></tr>
<tr><td rowspan="3">備　　考</td><td rowspan="3">第１試合
開始時刻
９：１５</td><td>打撃練習</td><td>不可</td></tr>
<tr><td>ブルペン</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td>横断に気をつけてください</td></tr>
<tr><td>駐車場
注意事項</td><td colspan="4">・身障者駐車場や公園内の路肩は駐車禁止です。
※チーム関係者および保護者会へ周知徹底願います。</td></tr>
</table>

２　球場内でのアップ

（１）第１試合の球場入りは、試合開始90分前より可とする。遅くともオーダー交換時までに行うこと。

（２）球場内でのアップは、試合用ユニフォームとする。

（３）芝生保護のため、球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。

（４）球場内での打撃練習はバントまたは１対１のペッパーまでとする。

（５）外野ノックはグラスラインより内側※土の部分から行うこと。

（６）第１試合のチームの球場内での練習に登録メンバー以外の部員を入れることができる。
但し、同一ユニフォーム（さらにサイドノック時はヘルメット）を着用し、試合開始４５分前（オーダー交換時）には球場内から引き上げること。

（７）投球練習の際の捕手（控えの捕手も同様）は、必ず捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。

（８）球場内練習では、競技で使用する以外の道具を使用することを禁止とする。
例・・・シャトル、プラスチックボール、サンドボール、ラダー等

３　練習会場でのアップ

（１）練習会場の使用は、会場到着後本部席（球場長）に確認をとって練習開始すること。その際、設備面・安全面を考慮し、大会本部が使用についての制限を設ける場合がある。

（２）バッティング練習が可能な練習会場では、安全面に注意して行うこと。

（３）練習会場では、可能な限り競技で使用する道具のみを使用すること。

（４）第２試合目以降のチームは球場内（フィールド内）のブルペンを使用することはできない。
※　ブルペンがフィールド外にある場合は使用を認める場合もある。

４　オーダーの記入・提出・交換

（１）記入
①オーダー用紙は全てフルネームで記入すること。※控え選手もフルネームで記入
②オーダー用紙のポジションの記入は数字で記入すること。

（２）提出
①オーダー用紙の提出は、第１試合はオーダー交換の10分前まで、第２試合以降は前試合の３回終了までに提出すること。
②オーダー用紙は５部提出すること。

（３）交換
①第１試合目のオーダーの交換は、試合開始時刻の４５分前とする。
②第２試合以降のオーダー交換は、前試合の４回終了時に行うこととする。

５　シートノック

（１）シートノックは、１回戦および準決勝の試合開始３０分前に、後攻側から始める。通告時より５分以内とする。

（２）天候等事情により省略、短縮、またはサイドノックに変更することもある。

※　サイドノックでは、芝生保護のため球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。

（3）相手チームは、完全にベンチ内で待機すること。

（4）シートノック時、マウンドでの投球練習は認めない。※ブルペンでの投球は可。

（5）シートノックの捕手は登録選手が行うこと。補助員の捕手は不可。

（6）シートノックの補助員は全員ヘルメットを着用させること。

（7）シートノック時の補助員を、登録外生徒（５名以内）で行ってもよい。

※ボールの受け渡しに限る。

※ユニフォーム、ヘルメットを着用すること。

（8）先攻チームは後攻チームのシートノック終了1分前のアナウンスでベンチ前に整列しノックに備える。

６　用具・装具規定および点検について

（1）沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部「用具・装具規定及び運用規定」を遵守すること。

（2）各チームとも上記の規定を熟読し、事前に用具点検を確実に行うこと。

（3）用具点検は、試合前シートノック時にベンチ待機チームに対して行います。

（4）ヘルメットは、規定に則ったものを最低限８個以上準備すること。

（5）点検の際には、ヘルメット、バット、グラブなど用具をベンチ前に並べ、点検に協力すること。

７　試　合

（1）試合中のアップ（キャッチボール）は２組（４名以内）とする。

※攻守交替時に限り、控え選手がファウルグラウンドでの外野方向へランニングすることは認める。

※キャッチボールの際のゴロ捕球は禁止。

※打者、次打者以外の選手が、フィールド内で素振りを行うことは禁止。

（2）控え捕手も常に捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。

（3）ベースコーチ、バットボーイともに、規定のヘルメットを着用すること。

（4）イニングの攻守交代時にヘルメット、グラブの受け渡しがスムーズに行えるように手配すること。

（5）攻撃タイムおよび守備タイムは１分以内で行えるようにすること。

（6）４回、７回終了時に、会場補助役員がグラウンド整備を行う。

※　天候によっては行わない場合もある

※　整備終了後の直後に登板する投手に限り、ベンチ前でのキャッチボールは認める。

（7）天候および負傷（体調不良も含む）による試合の中断は１０分を目安として、出場の可否をチームで判断し、試合を再開できるようにする。

８　応　援

（1）攻撃側のチームが優先となる。

（2）試合開始の礼が終わり次第、先攻チームの応援優先となる。

（3）イニング終わりは、審判の３アウトコールである。その直後からが攻撃側の優先応援となる。

（4）ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止とする。

（5）相手チームへの「やじ」や「走った」等の攻撃側のアンフェアな声かけを禁止とする。

９　申告故意四球

（6）５．０５　⒝（１）【原注】９．１４

定義７

打者が打撃中にボール４個を得るか、守備側チーム監督が打者を故意四球とする意思を審判員に示し、一塁へ進むことが許される裁定である。守備側チームの監督が審判員に故意四球の意思を伝えた場合（この場合はボールデッドである）、打者には、ボール４個を得たときと同じように、一塁（が与えられる）へ進むことが許される。

※申告故意四球の確認事項

①従来通り、投手が敬遠するために実際に投球して四球にすることも可能。

②打撃中の投球カウント途中においても守備側の監督が申告することが可能。

③守備側の監督から申告されれば、球審はボールデッドとして打者に一塁を与える。

④申告による四球は実際に投球されていない場合、その投手の投球数としてカウントはしない。

⑤攻撃側チームが代打を告げた場合、先に代打の手続きを行ってから敬遠のリクエストを受ける。

⑥投手が交代した最初の打者が申告による敬遠で一塁に進んだ場合､投手は１人の打者と対戦したとみなされ、交代することができるようになる。

⑦リクエストにより敬遠を行った場合、その時点でアピール権が消滅する。

⑧申告故意四球の例

「例」最終回の裏０－０の同点。攻撃側は１アウト走者三塁、３番打者Ｃのケース。

①守備側チーム監督がタイムを要求。

②審判員はタイムのジェスチャー。

③守備側チーム監督が、審判員に故意四球の意思を伝えた。

④球審は、打者に一塁へ進塁の指示を行う。

⑤打者走者が一塁に到達し、４番打者Ｄが打席に入り球審は「プレイ」を宣告。

⑥打者Ｄのボールカウント２Ｂ－０Ｓ時に、守備側チーム監督はタイムを要求。

⑦守備側チーム監督が、審判員に故意四球の意思を伝えた。

⑧以下省略。

１０　マナーチェックについて

今大会は、開会式がありません。したがって、各チーム身なり指導および事前点検をお願いいたします。また、大会当日は現地球場においてマナーチェックを受けていただきます。以下の注意点を確認のうえ協力お願いいたします。

（１）各チーム、一日目の球場でマナーチェックを受けて下さい。

（２）各チーム出場監督は、球場到着後すぐに本部席（球場長）へ合図を行い、マナーチェックの手続きを行って下さい。

①１試合目のチームは、７：４５以降に球場入りのため７：３０からマナーチェック可能。

②２試合目のチームは、球場到着後オーダー提出（交換）までにマナーチェックを行ってください。

（３）出場監督および大会役員は、マナーチェック要項の閲覧をよろしくお願いします。

マナーチェックの実施について

沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部

１　目的

沖縄県中学校野球選手権大会　大会特別規則１０（９）に基づき、学校教育の一環として行われる中体連主催の大会には、中学生らしい服装・マナーで参加させることを目的として、本大会においても参加校登録選手を対象に「マナーチェック」を実施する。

２　実施方法

（１）大会当日選手集合場所（本部席周辺）において「マナーチェック」を実施する。

（２）点検順序

①大会役員の指示により整列し、脱帽する。

②以下の項目に沿ってチェックを実施する。複数人（二人）で一人ずつ行う。

項　目		チェック基準
1	頭　髪	相手校に不快感や威圧感を与えるような 〇　染髪や脱色　〇　そり込みや刈り込み　〇　眉ぞり などをしていないか。
2	爪	競技に危険を及ぼすような 〇　故意に伸ばされた爪 〇　投手指先へのテーピングなどをしてないか。
3	装飾品	競技に支障をきたす（大会取り決め事項に禁止されている）ような 〇　装飾品（ピアス、ネックレス、ミサンガ、リストバンド、リストガード等）を身につけていないか。 ※　チタンブレスレット、ファイティン、ネックレス等の着用は不可。
4	ユニフォーム	全選手が 〇　同色、同型、同意匠のユニフォーム・帽子・アンダーシャツ・ソックス・オーバーストッキングを着用しているか。 ※　オーバーストッキングは長さ（ローカット、ミドルカット等）を統一したものを着用すること。カラーソックスは不可。

※１　上記項目を「適正」（無表示）、「要確認」（△）、「要指導」（×）で点検し、結果を票に記入する。

点検後、**「要確認」・「要指導」**の選手がいた場合は下記の流れで指導を行う。

→　①　点検者は、チェック用紙を責任者へ提出する。※そのときに、気になる選手についても報告する。

②　点検者責任者は要確認・要指導の生徒について、大会本部（県専門部長・競技部長）へ報告する。

③　大会本部は地区専門部長へ伝え、地区専門部長が監督へ報告する。

④　監督及び地区専門部長は要確認・要指導の生徒の状況を確かめる。

⑤　地区専門部長は確認後、大会本部へ状況を報告する。監督･該当選手は大会本部にて待機する。

⑥　大会本部にて確認後、規律委員会を立ち上げ、今後の対応・判断を行う

※２　大会２日目以降についても、マナーに関する決まりを守ること。